

事業者向け 児童発達支援自己評価表（公表）

公表：2020年2月14

児童発達支援事業通所施設 童夢
 指定番号：1250100862



		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースを最大限使い、子ども達が分りやすいよう、使いやすいよう活動によってレイアウトを変更させている。 ・天候によって、室内あそびの時には、ぶつからないようにする等配慮が必要。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人数と状況に合わせて職員配置をおこなっている。 ・職員のOJTとして人数を増やしていることがある。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・目で見えてわかる子どもには、出来るだけ分かりやすく子ども達伝わるよう、絵を掲示する等に見てわかるよう努めている。また、音に敏感な子どもには、音に配慮し、少しずつ慣れる、聞く姿勢を育めるよう努めている。 ・目で見えてわかるように絵を貼ったりしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除と消毒など徹底している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常に朝礼で共有している。ミーティング(朝礼等)を行い、全体に周知している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方からのご意見は大切にしている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所向け自己評価を行う事で、風通しの良い事業所作りに努めている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者ではないが、専門知識のある職員によるコンサルティングを受け業務の改善に努めている。 ・教育コンサルタントによる支援のふりかえり等を行っている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職より定期的に指導をうけている。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を制作しているか	8	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関での心理検査をいただいて活用しています。 ・他機関で行われたアセスメントや検査結果等を保護者様から共有頂き支援の参考とさせて頂いています。

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	・日々の支援やモニタリングを通して、保護者の方からのご意見やご要望を伺い、児童発達支援ガイドラインにもとずいて計画を作成するよう努めている。必要に応じて、具体的な支援内容については、口頭で伝える機会をつくるようにしている。
	⑬	児童発達支援計画に添った支援が行われているか	8	0	・視覚的に支援が必要な子どもには、絵カードなどをつかっている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	・徐々にそのような形が取れてきている ・子どもの状況把握や課題分析が行えるようになることで、一人ひとりが支援の内容を考えられるようにしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	・子どもの特性や年齢に合わせて行っている
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を制作しているか	8	0	・童夢の支援は、朝の会から始まり、指先トレーニング(個別)、本の読み聞かせ、各週活動(集団)、外遊び、終わりの会などに分かれています。支援計画は、子どもの状況に応じて、作成されておりますが、その日の子どもの状況に応じて変更して支援する事もある。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	・ホワイトボードで見える化している
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	・支援終了後に、その日に関わった職員で振り返りを行っている。サービス提供記録(保護者へお渡しする記録)の他に、個別記録経過表を作成し、一人ひとりの子どもの状況を時系列で記録するようにしている。そうすることで、こちらの支援方法と子どもの様子を振り返り、上手くいく内容、上手くいかない内容等を分析・共有し次の支援に役立てるようにしている。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	・その日に関わった職員の記述をお互いに読み合うなどして、状況を把握し合う事で、適切な記録・支援につなぐようにしている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	・定期的に見学へきている	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	・現在は、該当児なし。 ・系列の保育園や他の保育園、幼稚園に通っている保護者様からの要望がある場合は、連携を図れるように心がけている。	

関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、該当児なし。 ・必要であれば(保護者様からの要望)常に連絡を取れるよう声をかけている。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もっと深めていきたい。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか、繋がりをつくるのが難しい。 ・市からのお知らせを保護者に共有している。 ・就学前相談から、お子さまの進路を決めるにあたって、特別支援学校(小学部)の先生が来られる事がある。その場合には、支援内容等の情報共有は行っている。 ・ご要望があれば、保育園から小学校に行かれるお子さまの場合も、これまでの支援内容やお子さまの様子を共有するよう努めている。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・共通のお子さまが来所の場合は、専門職員の方が見学に来られた事がある。その際は、助言をもとめることがある。 ・市からの研修案内は、職員に回覧し、職員に研修の情報を共有し、研修を受けやすい環境を提供している。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・系列の保育園と合同で行事を行うなど心がけている。 ・日程が決まっていたり、通所の予定によっては参加が難しい事もありますが、子ども達の様子を考慮し機会を作るよう心がけている。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所としては参加をしていない。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートや保護者様からの受け入れ、引き渡し時、モニタリングを通して出来るだけ共通理解をはかれるよう心がけている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、お子さまとの対応の仕方等を保護者様と話し合っています。 ・家族イベント等を行っていますが、ペアレント・トレーニングは行っていません。
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけお手紙を出すなどして、長期休み利用の方にも情報が伝わるよう心がけている。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの際に、支援内容を保護者様と共に確認できるよう心がけている。
③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行っており、出来るだけ話しかけやすい環境作りや、連絡し易い時間割を作るよう心がけている。 	
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時に交流をはかっている 	

保護者への説明責任等	⑳	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	・要望に応じて、モニタリング以外にも話を聞く時間を設定している。
	㉑	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	・「童夢通信」を毎月発行し、子どもの様子や子育てワンポイント、連絡事項をまとめて提供している。
	㉒	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	・個人情報、施錠されたキャビネットにしまい、持ち出しはしないように周知している。個人情報があるファイルを持ち出す場合には、声をかけて誰がどの書類を持っているのか明確にし、責任を持って取り扱うよう努めている。
	㉓	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	・至らない点もたくさんあると思います。子どもの意見をしっかり傾聴し、保護者様の意見やご要望にもこたえられるよう常にご意見を聞ける体制を整える等心がけている。
	㉔	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	・招待などは行っていないが、散歩や公園に行く時には、あいさつをするよう心がけている。
非常時の対応	㉕	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	・毎月一回子どもと職員では、地震・津波を想定した訓練を行っている。保護者との連携に関しては、今年から「まちこみ」を導入し、保護者に登録をお願いした。 ・感染症に関しては、手洗いうがいと休息の徹底をお願いする等を行っている。
	㉖	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	・毎月一回子どもと職員では、地震・津波を想定した訓練を行っている。
	㉗	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	・契約時のみ関わらず、お子さまの様子で変わった事がある時には、保護者様から教えて頂くようお願いしている。
	㉘	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	・医師の投薬指示所の提示をお願いしている。その他の対応については保護者様より情報を頂き発作をおこさないようつとめると共に、発作の際の対応も医師の指示書に基づいて対応できるよう心がけている。
	㉙	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	・ヒヤリハットをまとめており、常に職員が閲覧できるようキャビネットに入れてある。 ・ヒヤリハットがあった時には、職員会議で内容を共有し、同じ事が起こらないように努めている。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	・虐待に関する情報を職員室に掲示し、常に自分の行動をふり返るように努めている。 ・市からのお知らせを掲示し、虐待防止の研修に職員が参加できるよう努めている。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	0	・身体拘束は行っていない。